

- 問1 縄文時代の人々が製作した「土偶」について、その特徴や目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 亡くなった有力者の権力を示すために、巨大な墓の周囲に並べる装飾として作られた。 | 2. 安産や豊作を祈るまじない、あるいは病気の治癒を願う儀式的道具として用いられた。 | 3. 大陸から伝わった稲作技術とともに、収穫した稲の穂を摘み取るための道具として広まった。 | 4. 武士が戦場に赴く際、勝利を祈願して寺社に奉納するための供え物として作られた。 |
|--|--|---|---|
- 問2 縄文時代における自然環境の変化と人々の暮らしの関係について、正しい背景を説明しているものはどれですか。（2022年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 激しい気候変動を乗り切るために、共同体で大規模な金属器の生産を行い、近隣の集落と食料を奪い合う戦争が日常化した。 | 2. 寒冷化によって大型動物が絶滅したため、人々は食料を求めて移動を繰り返す洞穴での生活を余儀なくされた。 | 3. 温暖化により落葉広葉樹林や照葉樹林が広がり、ドングリなどの木の実が豊富になったため、採集活動が重要な食料確保手段となった。 | 4. 大陸と陸続きになったことで新たな家畜が持ち込まれ、広大な牧場での放牧を主体とした生活へと移行した。 |
|---|---|--|--|
- 問3 縄文時代に作られた土偶の中には、わざと体の一部を壊した状態で発見されるものがあります。このような特徴から推測される、土偶が作られた目的として最も適切なものはどれですか。（2023年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 大陸から伝わった高度な彫刻技術を模倣しようとして、失敗したものを廃棄した残骸。 | 2. 集落間の争いにおいて、倒した敵の姿を土偶に投影し、戦勝を記念して破壊する儀礼用。 | 3. 病気や怪我のある部分を壊すことで、その痛みを土偶に引き受けてもらおうとする身代わりの願い。 | 4. 土器を作る技術が未熟であったため、焼成の過程で自然に壊れてしまうことを前提とした観賞用。 |
|--|---|--|---|
- 問4 佐賀県の東馬遺跡（ひがしきょういせき）では、約8千年前の地層から植物の繊維で編まれた国内最古級の「編みかご」が発見されました。このような発見から推測される、当時の人々の生活習慣や信仰に関する記述として正しいものを次の中から選んでください。（2019年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 自然の恵みに頼った生活を送っており、魔よけや豊かな収穫を祈るために土偶（どぐう）が作られた。 | 2. 大規模な灌漑設備を整えて稲作を行い、村同士の争いに備えて周囲に堀を巡らせた環濠集落で暮らした。 | 3. 有力な王が各地を支配しており、その権力を象徴するために巨大な前方後円墳が造られた。 | 4. 仏教の教えが広まり、国家の安泰を願って各地に国分寺や国分尼寺が建立された。 |
|---|--|--|--|
- 問5 縄文時代における人々の生活環境の変化と、道具の使用に関する説明として最も適切なものはどれですか。（2016年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 気候が温暖になり動植物の食料が豊富になったことで定住が進み、食料の加工や保存のために土器が作られた。 | 2. 大陸から稲作が伝来したことで、収穫した穀物を大量に貯蔵するための薄くて赤褐色の土器が広く普及した。 | 3. 氷河期の影響で大型の獣を追う移動生活が中心となり、獲物を仕留めるために磨製石器が初めて登場した。 | 4. 有力な首長が各地に出現し、集落を守るための環濠や、身分を象徴する豪華な副葬品としての土器が作られた。 |
|---|--|---|---|
- 問6 山形県の西ノ前遺跡から出土した「縄文の女神」に代表される、縄文時代に作られた土製の人形について、その名称と当時の人々が込めた願いの組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------|-----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 1. 土偶 — 豊かな収穫や安産を祈るため | 2. 埴輪 — 亡くなった王の権威を示し、供養するため | 3. 銅鐸 — 稲作の豊作を願う祭りの道具とするため | 4. 勾玉 — 魔除けや身分を示す装飾品とするため |
|-----------------------|-----------------------------|----------------------------|---------------------------|
- 問7 約1万年前に氷期が終わり、日本列島の周辺環境が変化した際の様子について説明した文として、適切なものを選択してください。（2019年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. 気候が温暖になり、海面が上昇したことで日本列島は現在の姿に近づいた | 2. 大規模な地殻変動が起こり、日本列島は大陸から切り離されて島国となった | 3. 気候が寒冷になり、海面が下降したことで日本列島はユーラシア大陸と陸続きになった | 4. 気候が温暖になり、海面が下降したことで沿岸部に広大な平野が形成された |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|---------------------------------------|
- 問8 2019年に制定された「アイヌ施策推進法」では、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現を目指しています。アイヌ民族が日本の先住民族であることを認め、その独自の伝統や文化を維持・振興することで実現しようとしている、多様な背景を持つ人々が共に暮らす社会のあり方を何と呼びますか。（2026年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|------------|-----------|------------|
| 1. 持続可能な社会 | 2. 高度情報化社会 | 3. 中央集権社会 | 4. 多文化共生社会 |
|------------|------------|-----------|------------|
- 問9 縄文時代には、重く割れやすい土器や土偶の制作、長期間の生活痕跡である貝塚の形成といった文化がみられます。これらの文化が形成された背景となる当時の人々の生活様式について、最も適切な説明を選びなさい。（2026年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--|
| 1. 支配者の権力を示すために、巨大な古墳を造営して周辺で暮らしていた。 | 2. 本格的な水稲耕作を行い、大規模な環濠集落をつくって暮らしていた。 | 3. 堅穴住居などを拠点とし、一定の場所に定住して暮らすようになった。 | 4. 大型の野獣を狩猟するため、獲物を追って各地を移動しながら暮らしていた。 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--|
- 問10 縄文時代の遺跡から多く発見される、当時の人々が定住生活を始めたことを示す遺構について、地面を掘りくぼめた床に柱を立て、屋根をかけた住居を何と呼ぶか答えなさい。（2017年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1. 書院造 | 2. 高床倉庫 | 3. 堅穴住居 | 4. 寝殿造 |
|--------|---------|---------|--------|
- 問11 縄文時代につくられた素焼きの人形で、豊かな収穫や病気の回復、魔除けなどを祈るために用いられたとされる遺物を何といいいますか。（2026年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 埴輪 | 2. 石包丁 | 3. 土偶 | 4. 銅鐸 |
|-------|--------|-------|-------|
- 問12 青森県に位置し、大型掘立柱建物跡などの発見によって縄文時代の定住生活の実態を明らかにした、日本最大級の集落跡は何か。（2025年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|---------|---------|-----------|
| 1. 吉野ヶ里遺跡 | 2. 岩宿遺跡 | 3. 登呂遺跡 | 4. 三内丸山遺跡 |
|-----------|---------|---------|-----------|
- 問13 縄文時代の遺跡に関する調査報告において、「集落の近くから丸木舟が発見されたこと」と「大規模な貝塚が形成されていたこと」が同時に示される場合があります。これらの事実から導き出される、当時の人々の生活背景として最も適切な説明を選びなさい。（2024年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 海や川の資源を積極的に利用しており、漁労が生活を支える重要な手段であった。 | 2. 稲作が普及したことで定住が進み、余った食料を貯蔵するために大規模な施設を作った。 | 3. 集落間の争いが激化したため、外敵の侵入を防ぐ目的で集落の周囲に堀を巡らせた。 | 4. 大陸との公的な交易を行うため、大型の船を建造して組織的な外交を行っていた。 |
|--|---|---|--|